

★★

きらら通信 大阪府教育センターメールマガジン 第6号 平成29年6月30日
<<<http://www.osaka-c.ed.jp/>>>

★★

みなさん、こんにちは。大阪府教育センターです。
梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
同じ日本の梅雨でも、西日本では短時間の激しい雨が降ることが多く、東日本ではしとしとと何日間も降り続くことが多いと、性格が異なるようです。
雨ニモマケズ 夏ノ暑サニモマケズ 前進し続けられるよう、今月号もフレッシュな情報を提供いたします。

oo

【目次】

- 〔1〕理科教育の充実に役立つ 教育センターweb ページ活用のススメ
- 〔2〕大阪府へき地・遠隔地小規模校教育研究会の取組みの展示
- 〔3〕次期学習指導要領に向けて web ページ更新
- 〔4〕文部科学省 小中学校次期学習指導要領解説を公表
- 〔5〕文部科学省 「道徳教育アーカイブ」を設置
- 〔6〕文部科学省 「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成28年度）」の結果を公表
- 〔7〕すこやか教育相談のご案内

oo

☆☆~~~~~

☆【1】理科教育の充実に役立つ 教育センターweb ページ活用のススメ

~~~~~

「中学校『理科』授業プラン集」を大阪府教育センターweb ページに掲載いたしました。このプラン集は、本教育センターの理科長期研修生が自身の「現場での困り感」をもとに作成し、修正を加えて完成させたものです。単元の中でも特にポイントとなる1時間について、判断基準も含めた本時の展開例やワークシートもあわせて掲載しており、実際に授業で活用しやすくなっています。

小学校対象としては、センターメールマガジン第4号でもお伝えした「小学校理科ハンドブック」をさらに効果的に活用していただけるよう、各単元の内容とリンクした「単元チェックシート」を作成しました。今回は、1学期に取り扱う内容を中心に、大阪府教育センターweb ページに掲載しています。「小学校理科ハンドブック」には、「授業でおさえるべき基本事項」をはじめ「知っておくと便利な知識」まで、教材研究のヒントがたくさん詰まっています。こちらもぜひご活用ください。

中学校「理科」授業プラン集は、こちらからご覧ください。  
<<[http://www.osaka-c.ed.jp/kate/rika/kyozai/rika\\_plan.html](http://www.osaka-c.ed.jp/kate/rika/kyozai/rika_plan.html)>>

小学校理科ハンドブック単元チェックシートは、こちらからご覧ください。  
<<<http://www.osaka-c.ed.jp/kate/rika/kyozai/tyekkusito/mokuzi.html>>>

小学校理科ハンドブックは、こちらからご覧ください。  
<<[http://www.osaka-c.ed.jp/kate/rika/kyozai/rika\\_handbook.pdf](http://www.osaka-c.ed.jp/kate/rika/kyozai/rika_handbook.pdf)>>



★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆【5】文部科学省 「道徳教育アーカイブ」を設置

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

文部科学省は、平成30年度から小学校、平成31年度から中学校で、道徳が「特別の教科」化されることを見据え、「特別の教科 道徳」の趣旨や理念の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等を提供する「道徳教育アーカイブ」を設置しました。これは、現在、全国の教育委員会で作成されている指導資料や郷土教材、各学校の実践事例を収集、整理し、一元的にweb上で発信することにより、今後の道徳教育の推進に役立てることを目的としています。

詳細は、こちらからご確認ください。

<<<https://doutoku.mext.go.jp/>>>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆【6】文部科学省

「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成28年度）」の結果を公表

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成28年度）」の結果が文部科学省より公表されました。この調査は、公立の小中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍する、日本語指導が必要な児童生徒数の推移を平成3年から2年ごと（平成11年度から平成20年度までは毎年度）に調査したものです。

平成28年度における、日本語指導が必要な児童生徒数は約44,000人で、2年前の調査から約7,000人の増加となりました。この10年間では1.7倍に増加しており、日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実は重要な課題となっています。

詳細は、こちらからご確認ください。

<<[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/06/\\_icsFiles/afieldfile/2017/06/21/1386753.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/06/_icsFiles/afieldfile/2017/06/21/1386753.pdf)>>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆【7】すこやか教育相談のご案内

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

教育相談室では、子どもたちのすこやかな成長・発達を願って、教育相談を行っています。教育上の様々な問題や悩みについて、相談者自らが解決に向かうことができるよう支援します。お気軽にご相談ください。

詳細は、こちらからご確認ください。

<<<http://www.osaka-c.ed.jp/sukoyaka/index.htm>>>

◇.....◇

きらら通信 大阪府教育センターメールマガジン 第6号（平成29年6月30日発行）

編集担当：小中学校教育推進室

<<[osaka\\_center@gbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:osaka_center@gbox.pref.osaka.lg.jp)>>

◇.....◇